

2025年10月22日取材

茨城県

産地レポート

レタス

JA岩井 高温条件下で結球が安定しやすい
「ヒートガイ」の導入で
初秋の安定出荷を目指す

JA岩井 古矢 拓也



↑「惚レタス」のブランド名で親しまれるJA岩井の玉レタス。

土づくりからこだわった
「惚レタス」

JA岩井のレタスは、「こだわり惚レタス」と称して販売しています。その内容は、生産者全員が緑肥作物の作付けや堆肥施用、高有機含有肥料（有機70%）を用いるなど、土づくりにこだわったレタス栽培を実践しています。年間の出荷量は約1・2万t（120万ケース／10kg箱）で、京浜市場を中心に北海道・東北・信越・中京・関西市場に出荷しています。



↑集荷場に搬入された玉レタスは品種、生産者別での検品が行われる。問題がなければ予冷され、その日のうちに市場へ出荷される。また、箱詰めがきれいな方のレタスは、見本となるよう検査場に飾られる。



↑8月20日まき、9月14日定植で収穫をまつ「ヒートガイ」。100m畝に株間27cm×条間30cm（中条は33cm）で4条栽培される。



↑（左）検品では箱への詰め方も重視。見本として並べられた「ヒートガイ」。（右）「こだわりの逸品!!」と「Ⓢ」のマークが目を引くJA岩井の販促ポスター。

レタス作りに適した産地 岩井

茨城県県西地域に位置する坂東市（旧岩井市）は、首都圏から50km圏内にある平坦で広大な農地、温和な気候など自然環境に恵まれ、これらの有利な条件を生かした都市近郊農業が盛んな地域です。

その地域を拠点にJA岩井・岩井農協園芸部は、昭和43年（1968年）に発足。発足以来、生産された野菜は「Ⓢ」の商標でご愛顧いただいております。部会員は、現在310戸在籍し、ネギ310ha、春・秋レタス330haを作付けし、年間販売額75億円を目指しています。その販売額の87%をネギとレタスの2品目が占めている産地です。

地域概況



作型	8月	9月	10月	11月	12月	作付割合 (%)	主要品種
10月どり	① ② ③ ④					41	ヒートガイ、エクセル ヒートガイ、サマーガイ ブルラッシュ、サーマルスター ブルラッシュ、ラプトル
11月どり	⑤ ⑥					48	ラプトル ディアマンテ フリフリッカー
12月どり	⑦					11	フリフリッカー ウィザード パワースイープ

●:播種 ▲:定植 ■:収穫

22 2026 タキイ最前線 秋種特集号